

# 九州・沖縄

12 団体



## 福岡県立糸島農業高等学校

根っこ部

アブラナ科植物を根こぶ病から守りたい

アブラナ科植物にだけ発病する根こぶ病は、世界的に農家や家庭菜園者を悩ませているため、その発病診断をJAなどと協力して実施している。加えて、その技術を他の高校へ指導しており、同時に防除技術の研究も継続している。



## 東筑紫学園高等学校

広谷湿原保全プロジェクト

守ろう! 私たちの平尾台+広谷湿原!! ラムサール条約登録!!!

カルスト台地に日本で唯一存在する貴重な湿原、広谷湿原の成因、増減、再生について調査(面積測量、ネザサのかきおこし、地下水管理、土壌硬度など)し、ラムサール条約登録に向けて活動している。



## 大分県立玖珠美山高等学校

チームflower's

レンゲツツジの郷の復元をめざして ~かつての賑わいを取り戻す活動を~

天然記念物であり、絶滅危惧種であるレンゲツツジを保護するため、種子を採取して学校で実生苗を育て、苗木を清楚地区に植え戻す活動を試行錯誤している。また調査の結果、固有種のキレンゲツツジも見つかった。



## 佐賀県立佐賀商業高等学校

さが学美舎

SAGA 藻わたしたちの未来

植物の数十倍のスピードで光合成をする藻類に着目し、その可能性を発展させ、同時に普及啓発することで持続可能な循環型低炭素社会の実現を目指している。



## 長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部

長崎県離島の伝統文化の振興と世界遺産PRをめざした新商品開発

地元の食材を主な材料とし、さらに地元特産品の副産物(五島うどんのふし)も有効活用できる商品開発を行うことで、農業廃棄物の減少や伝統文化の継承、海外への情報発信を目指している。



## 熊本県立岱志高等学校

理科部

荒尾干潟の生物多様性研究とアウトリーチ活動

荒尾干潟の底生生物の種類を調査し、生物多様性が高いことを明らかにしている。さらにその知見に基づき外部に向けて観察会等を実施することで、森里川海の連携の大切さや水環境の大切さについて伝えている。



## 熊本県立天草拓心高等学校 マリン校舎

科学部

カヤノミカニモリの産卵と生活史の研究

絶滅危惧種である海産巻貝カヤノミカニモリを研究し、その生息場所、産卵時期、ベリジャー幼生の生態など、生活史を明らかにすることに成功した。今後は稚貝の飼育・観察に向けて検討を重ねている。



## 鹿児島県立錦江湾高等学校

化学研究部

雨粒の大きさ・降雨量測定器(R System)の開発

近年豪雨の発生日数、水害被害が増加傾向にあることから、雨滴の大きさと豪雨に関係性があると考え、簡単に誰でも雨滴の大きさを測定できる装置の開発を試みている。装置では音波を使用するため安全性が高くなっている。



## 鹿児島県立薩南工業高等学校

機械工作部

持続可能な社会のために私たちは何をすべきか

エネルギー環境教育をテーマに子どもたちに対して出前授業を行っており、ものづくりの楽しさや科学技術に対する好奇心を持つことの大切さを伝えている。また出前授業を通じて、コミュニケーション能力も向上している。



## 鹿児島県立鶴翔高等学校

作物班

水産廃棄物「ウニ」の有効活用 ~リサイクルで環境保全~

魚の住みかである海藻を荒らす長ウニは、食べることができず廃棄にも費用がかかっていた。また牧草地では化学肥料をたくさん散布することが環境汚染につながっていた。これら2つの問題を同時解決するため長ウニの発酵液を開発した。



## 沖縄県立中部農林高等学校

熱帯資源科 動物コース

命の授業 ひまわりプロジェクト

生物多様性が豊富な沖縄やんばるの森では、無責任にペット(犬や猫)を捨てる人間が原因でヤンバルクイナなど希少種が多量なる被害を受けている。この問題を解決するため、生態系の素晴らしさを伝えている。



## 沖縄県立南部農林高等学校

科学部

国場川・長堂川の河川調査Ⅳ ~きれいで遊べる川にするために~

学校近くの2つの川に焦点をあて、将来子どもたちが川に入って楽しく遊び、生き物たちが住みやすい川となるよう調査、実験を行っている。科学的なデータを駆使し、水質浄化を試みている。

